

2023（令和5）年度 活動実績報告書

余市町地域おこし協力隊 秋保 沙央里

令和5年3月に着任し、NPO 法人北海道エコビレッジ推進プロジェクトを受け入れ先として、関係人口創出のための活動を行いました。

■NPO 法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト支援活動

・北海道エコビレッジ推進プロジェクト（余市エコビレッジ）について

NPO 法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト（通称：余市エコビレッジ）は「持続可能な暮らしと社会」を創造するための技術や考え方を学び、広める団体です。食やエネルギーなど暮らしに必要なものをできるだけ自ら作り出すこと、それらを地域で共有すること、生産者と消費者、都市と農山村をつなげることなど、持続可能な暮らしやまちづくりを、現場での体験を通して包括的に学ぶことができる場所です。



*余市エコビレッジの活動や最新の情報など、詳しくは下記リンクをご参照ください（右のQRコードからもリンクへ飛べます）

<https://lit.link/happynecollege>



・学び・体験プログラムの企画・運営支援

余市エコビレッジや余市町をフィールドに、畑やブドウ栽培などの農作業体験や海・森での自然体験、エコビレッジの実践などを通して SDGs を学ぶ研修の企画・運営を支援しました。個人から学校、大学、企業・団体まで、幅広い年代、層の人々の受け入れを行います。修学旅行をはじめとする教育旅行の受け入れ生徒数は述べ 276 名（2023 年）。一部の SDGs 研修にあたっては、地域おこし協力隊ワイン産業支援員のトニー隊員や水産業支援員の蔓木隊員とも連携して受け入れを行いました。

○教育機関

札幌市福移中学校、インフィニティ国際学院中部、北海道大学 ESD キャンパスアジア、

北海道大学農学院、北海学園大学、早稲田大学大学院、慶應大学、東京大学、シンガポール・
テマセック大学、北海道シュタイナー学園いずみの学校、奈良県五条市西吉野農業学校、聖
徳学園中学校、延暦寺学園比叡山高校、外務省対日理解促進交流プログラム JENESYS ほか

○企業・団体

余市町若手職員研修、ネスレ日本、株式会社オルタナ、コープさっぽろ、スローフード北海
道、TED x Sapporo 気候変動ハッカソン、札幌市関係人口創出事業 ほか



北海道大学 ESD キャンパスアジア



延暦寺学園比叡山高校の皆さんと

・余市エコビレッジでのボランティア受け入れサポート

例年5月に実施している「春のワークキャンプ」、夏季に英国・カーディフ大学から海外
ボランティアを受け入れ実施している「国際ワークキャンプ」をはじめ、一年を通して日帰
りから短期、1ヶ月以上の中長期まで、国内外からのボランティアを受け入れており、受け
入れサポートを行いました。2023年の中長期ボランティアは5名（日本・オーストリア・
イギリスから参加）で、日帰りを含むボランティア活動人数は延べ551名となりました。



・援農ボランティアの派遣と滞在サポート



ワイナリーでの収穫作業

ワイン用ブドウの収穫期に地元ワイナリーの収穫ボラン
ティアの派遣と滞在サポートを行いました。

また、さっぽろ連携中枢都市圏の若者が道内の地域に滞
在しながら地域のニーズに応じた活動に参加し、地域課題と向
き合うことを目的に札幌市主催で実施された札幌市関係人口
創出事業 Go!Local の受け入れを行い、余市町内ワイナリーで
のブドウ収穫作業のボランティアと、地域課題についてのレ
クチャー&ディスカッション、滞在サポートを行いました。

■「余市町おためし地域おこし協力隊」ツアーの実施（余市町委託事業）

地方移住を希望する若い世代など、まだ移住に対して具体的なイメージを持っていない方々を対象に、余市町の暮らしや地域おこし協力隊の活動を体験できるツアーを夏、秋、冬の3回実施しました。

余市町内の様々なスポットを訪れ、先輩移住者の訪問と交流、現役地域おこし協力隊員との交流会、ワイナリー訪問や収穫体験、スノーシューツアーなど余市町ならではの体験ができるプログラムを企画・実施。各回最大4名で募集し、2023年度は夏2名、秋3名、冬2名の計7名の参加がありました。

ツアー実施後に行なったアンケート結果からは参加者の満足度は高く、このツアーへの参加をきっかけに余市町に定期的に訪問する方が出てくるなど、関係人口づくりにつながる取り組みとなりました。



ツアー募集イメージ（夏・秋・冬）



夏のツアー参加者



地域おこし協力隊員との交流会



秋のツアー参加者とブドウ収穫体験



SUNNY SIDE FARM さん訪問



冬のツアー参加者



登醸造さん訪問&作業体験

■余市町のまちづくりに関する活動

・「北海ソーラン祭り」地域おこし協力隊ブース設置

2023年7月1日（土）に実施された「第55回北海ソーラン祭り」にて、余市町地域おこし協力隊員ブースを設け、子どもたちが楽しめる縁日ゲームを提供しました。



・余市西中学校「総合学習」での活動紹介

2023年9月11日の13:25～14:15（5時間目）に西中学校を訪問し、凌 嘉俊（トニー）隊員とともに地域おこし協力隊の活動紹介を行いました。



・ラジオ番組「知るべし！しりべし」での余市町 PR

北海道後志総合振興局の新たな取組で、後志管内の20市町村の魅力を発信する「知るべし！しりべし」というラジオ番組の中で余市町のPRを行い、管内コミュニティFMの2局（FMおたる、ラジオニセコ）で配信されました。地域おこし協力隊の活動内容のほか、余市町の魅力やおすすめなどを紹介。また、町が推進しているワイン産業等について紹介しました。



※北海道後志総合振興局「知るべし！しりべし」紹介ページで視聴も可能です

https://www.shiribeshi.pref.hokkaido.lg.jp/ts/tss/shiribeshi_radio.html